

湖北圏域河川整備変更計画の策定について

●委員

これからの整備はそれぞれの予算に従って、何年かかけて各河川でやっていくという形になるのか？

○事務局

そのとおりである。

●委員

具体的な検討案とか事後評価は、環境評価等の委員会でその都度、検討されるのか？

○事務局

各河川において、完了するタイミングで事後評価の手続きをしていくことになる。

現状の河川整備計画については、概ね20年の計画としているが、社会情勢の変化等あるので、学識経験者からなる淡海の川づくり検討委員会で審議に諮ることや住民の方への説明もあわせてやっていくことから、途中段階での対応はあるものと考えている。

●委員

国土強靱化に関連して、ここ数年間で滋賀県内の川の整備は、かなり早く進んでいるが、その中で早急に着手する必要がある場所はあるのか？

○事務局

国土強靱化の関係については、交付金事業・補助金事業として、国からお金をもらい実施している。当面20年の計画として、7圏域の整備計画で掲載している河川は、基本的に全て整備していく。

●委員

県の「中小河川多自然川づくり河川維持管理に関する懇話会」のメンバーであるが、最近の河道掘削は、非常に拙速と思われるケースが目立つ。資料-2には「環境に配慮」との記載に対して、具体的にどうするかは決まっていないと思うが、事前のアセスメントと事後評価については、慎重にやっていただきたい。

○事務局

例えば湖北圏域では、天野川はホテルが天然記念物となっているので、事業実施にあたっては関係機関、文化庁も含めて事前調整しながら事業を進めていきたいと考えている。

●委員

かなり不安が残る。

●委員

調査や住民の意見を聞いても、それが反映されないケースを見ている。計画は立派だが、できたものは違うというケースもある。

○事務局

整備計画を立てるにあたり、治水、環境、文化財分野の学識経験者から意見をもらっている。このような計画に基づき実施することについては、了承をいただいていると認識している。今は計画段階になるので施工手法等については、個別に着手する時点で検討していかなければならない。事業担当部署とも共有して適正にできるように努めたい。

●委員

湖北のこの地は川が多く、積雪も多いので、時期により川に入る水量の多い少ないがあり、今まで大丈夫でも降雨により急に堤防が切れたりするので、住民にとって身近に感じる川が多い。天野川だけでなく、田川や米川も非常に環境が豊かなところなので、環境と住民の命、生活を守るように洪水や氾濫だけは避けてもらいたい。3河川について、水がひっかかる所や溢れる所は、早急に水の流れ口を確保して、氾濫被害が少なくなるようにしてもらいたい。この計画を見て、住民のことを考えてくれていると思った。今の環境を保全しつつ、住民の安全も担保できるような方法で進めてもらいたい。

○事務局

治水も環境も踏まえて整備に努めてまいりたい。ただし、10年に1回程度、または30年に1回程度（の降雨により予想される洪水を安全に流下させる）という計画規模までが整備の限界となる。河川整備計画では、第4章に超過洪水について記述しているが、住民に参画してもらい進めていくということも計画の中に位置付けているので、これを踏まえて進めていきたい。

●委員

資料-2：P5に記載されている天野川横断図と写真の位置を教えてください。田川、米川も同様。

○事務局

天野川については、資料-2：P4に記載している①が写真①「JR北陸本線上流付近」の位置となり、②が写真②「長岡地区付近」の位置となる。横断図については、赤矢印が横

断面「河口から上流約 1.4km」の位置になる。

田川については、資料-2 : P6 に記載している①が写真①「高時川横断ボックスカルバート地点」の位置となり、②が写真②「河口から約 6 km」の位置となる。横断面については、左側の赤矢印が「河口から約 1.2km」の位置となり、右側の赤矢印が「高時川横断ボックスカルバート地点」の位置になる。

米川については、資料-2 : P8 に記載している①が写真①「稻荷神社付近」の位置となり、②が「遊水地整備イメージ図」および「遊水地断面図」の位置になる。

●委員

今まで参加した説明会では、住民の意見を図面に反映せず事業を進められていることもあったので、住民の意見を聞きながら進めてもらいたいと思う。

○事務局

整備計画策定の手続きの中で、住民説明会や縦覧を通じて、住民意見をお聞きしている。工事に当たって、用地買収など、住民の方々に説明する各段階で意見をお聞きしながら進めたい。

●委員

横断面の中に環境に配慮した掘削とあるが、具体的にはどういうことを指しているのか？地下水に配慮しているのか？

○事務局

これまでの河川改修では、河床を均一的に掘削するとしていたが、資料-2 : P7 で示すとおおり、水が流れているところは触らずに、それ以外のところは凹凸があるような形で進めていきたい。

●委員

米川の遊水地は、平成 20 年にあったような大きな洪水には対応できない規模だと聞いている。遊水地の規模が大きくなると、水質が悪化しないのか？米川の下流は常時きれいな水が流れており、遊水地を通過すると水質が悪化しないか？水質管理はどういうふうにされるのか？

○事務局

出水が起こると水は越流して遊水地側に入るが、出水が終わり本川の水が引いていくと自然に流れていく形になる。本川に戻っていく時の水質管理・計測までは考えていない。

●委員

米川の遊水地には管理者がいなくて、水質の計測はしないということか？

○事務局

河川管理者が管理者であるが、水質管理・計測を行う施設整備までは考えていない。遊水地を設置した際に、色々な事象が現れるかもしれないので、検討も考えていかないといけないと思っている。

●委員

検討をお願いします。

●委員

天野川、田川については農業用利水が結構あると思うが、具体的にどう検討されたのか？

○事務局

農業用水としての利用者はある。必要な利水容量を回していく。川幅を広げる際に改築が必要となる堰の詳細設計はこれから行っていくが、利水容量は確保する。

●委員

米川の遊水地について、全く水が無い時の利用はどうなるのか？

○事務局

現在、地権者と協議中であるが、現状の遊水地は民地であり、今はグラウンドとして利用されている。出水時には水が入ってくるが、常時は空の状態になっている。

●委員

遊水地として使った後はグラウンドになるのか？

○事務局

水が引けばグラウンドとして利用してもらおう形で考えている。

以上